

# TTS音声合成サービスを利用した音声教材作成の試み

神戸学院大学 特任講師

玉村 公一

[tzoidkt@gmail.com](mailto:tzoidkt@gmail.com)

[ktamamura@ge.kobegakuin.ac.jp](mailto:ktamamura@ge.kobegakuin.ac.jp)

# 1. 自己紹介

1962年12月9日 京都市生まれ

1985年3月 関西学院大学 文学部英文学科卒業

1985年4月～2023年3月 兵庫県高校英語教員

県立高校3校、姫路市立高校2校

2023年3月 定年退職

2023年4月～ 神戸学院大学 特任講師

## 2. TTS音声合成サービス

TTS → Text to Speech (文字を音声に)

Amazon Polly, Eleven Labs,  
Microsoft Azure など

音声読み上げソフトとして無料で使用できるものも  
インターネット上で多数あり

### 3. 私の使用している音声合成サービス

## 「音読さん」

- 対応言語 80言語
- 英語は米、英、豪、印の4種類
- 声の種類  
男性、女性、男の子、女の子、ジェンダーレス  
英語は40名以上の話者が設定
- スピード、ピッチ(声の高さ)のカスタマイズ

- 会話機能

複数の音声で読み上げることで会話作成

異なる言語の音声組み合わせ

発話間の間隔は自在に時間調整可能

- MP3, WAVでダウンロード

- 履歴 音声作成は履歴として残り、後で編集可

## 4. 授業での音声教材作成と使用

### 1. 語句の発音練習

(音声、フラッシュカードなどが無い場合)

教科書で新出単語ではない語句

副教材・問題集など音声教材が不十分

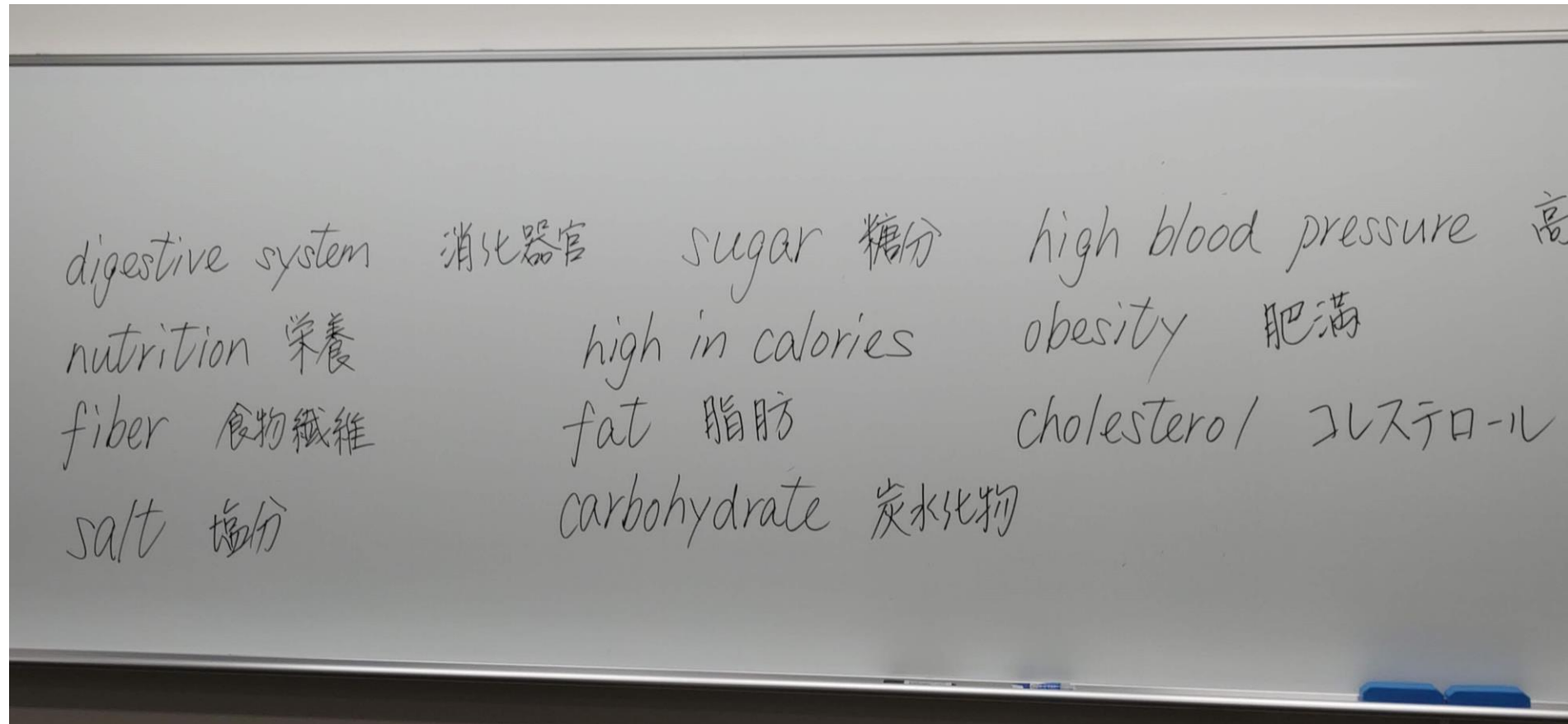
⇒ 数秒間隔で単語・語句の音声が流れるように作成する

(例) 帯活動としての30秒ミニスピーチ

## **Give Advice**

**“I gained weight in the last several months. I want to lose at least 5kg. What should I do?”**

各学生のミニスピーチから、その日の話題に関する語句を選んで記録し、後ほど音声練習教材を作成  
→ 翌週の授業で復習、発音練習





## 2. フレーズ、センテンスのリピート練習

会話、文章などのTextを①フレーズごと、②節ごと、  
③センテンスごとに区切って、

⇒ 会話機能を用いて、リピートできる間隔をあけて  
リピート練習用音声を作成する

※この音声を流しながら学生に練習させ、机間巡視を  
して活動状況をチェック

### 3. 「和訳先渡し」の代わりに

会話、文章などのワンセンテンスごとに、

**会話機能を用いて、英語→和訳 の順に交互に音声を作成する。**

※和訳のハンドアウトを印刷・配布するのと比較して、手間や労力はそれほど変わらない。学生は和訳を配布するとそれだけで安心してしまうので、音声で1度聞かせるのみ、とした。

## 4. Chat GPT, Audacity を併用して

### ・オーラルイントロダクション

Chat GPTにReading教材の対話スタイルのオーラルイントロダクションを作成させる。

⇒ 会話機能を機能を用いて対話音声を作成する。

### ・サマリー

Chat GPTにReading教材のサマリーを100～150words程度で作成させる。

⇒ サマリーの音声を作成する

## ・Audacityでのスピード調整、活用

これらの音声教材を、Audacityで音声全体のスピード調整をして、リスニングやシャドウイングの練習、試験問題に活用する。